

日本文学科

1 専門教育科目の構成

1. 日本文学科の教育目的

●学びのテーマ

日本文化の豊かさを知るとともに、表現者としてのセンスを身につける。具体的には、文学はもちろん、語学や伝統芸能などを深く追究することにより知識・教養を深め、感動や新たな発見を、多くの人に伝える表現方法を学ぶ。ことばによる、ことばについての体系的な学習を通して、真に物事を思考する力を身につける。

●卒業後の進路

自国の文化について正しい理解を持ち、またそれを他者に的確に伝えることの出来る真の国際人、コミュニケーションと考察によって課題を解決してゆける真の社会人の育成を目指す。学科の専門性を生かした職業としては、国語教師、司書、学芸員、日本語教師などがあげられる。

2. 日本文学科の特徴

以下の四系統の分野から広く「日本」について学ぶ。
文学系科目…古くは記紀・万葉から、新しくは近・現代文学まで、伝統的・歴史的側面と現代的側面をバランスよく学ぶ。また、日本文学に多大なる影響を及ぼした中国文学についても学ぶことが出来る。

語学系科目…方言や若者言葉など、現代の言葉の実態や、その歴史的変化など、さまざまな観点から日本語について学ぶ。

文化系科目…歴史的背景や、伝統的特色から日本文化への造詣を深める。

日本語教育科目…日本語を母語としない人に対する日本語教育の内容と方法、社会との関わりについて幅広く学ぶ。

3. 教育課程の特色

1 年次においては、大学生活への定着を図るとともに、日本語表現能力の向上を目指す（「日本文学基礎演習 A・B」）。また、専門分野を学ぶ上での基礎力を身につける（「日本文学史 A・B」「日本語概説 A・B」「基礎講読 A～J」）。2 年次においては、四系統の中からいくつかを選択し、その分野独自の研究方法などについて学ぶ（「日本文化史 A・B」「日本語教育概説 A・B」「演習 I・II」）。3 年次においては、来年度の「卒業論文・制作」を見据えながら、自身の専攻する系統をおよそ確定し、その分野に対し、さらに理解を深める（「発展演習 I・II」および講義系科目）。

なお、「卒業論文・制作」については、論文形式のものだけではなく、一定の条件を満たした者については、童話・小説など創作作品の提出も認めている。

2 履修方法

◆卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計 124 単位以上履修しなければならない。

1) 一般教育科目

一般教育科目は 42 単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

●必修科目（計 42 単位）

- 1 年次：「キリスト教学Ⅰ」、「基礎演習」、「日本語演習」、「人文社会科学入門」、「自然科学入門」、「英語Ⅰ A・Ⅰ B」を各 2 科目、「運動スポーツ論」、「教養講義 A～O（J を除く）」の中から 2 科目
「ドイツ語Ⅰ A・Ⅰ B・Ⅱ A・Ⅱ B」または「フランス語Ⅰ A・Ⅰ B・Ⅱ A・Ⅱ B」または「中国語Ⅰ A・Ⅰ B・Ⅱ A・Ⅱ B」
- 2 年次：「自然科学特論 A～G」の中から 1 科目、「総合コース A～J」の中から 2 科目
- 3 年次：「科学技術論」、「特殊研究 A・B」（4 年次でも可）
- 4 年次：「キリスト教学Ⅱ」

●選択科目

- 1 年次：「情報処理」
- 2 年次：「英語Ⅱ」、「ドイツ語Ⅲ」、「フランス語Ⅲ」、「中国語Ⅲ」
- 3 年次：「日本国憲法」
- 1～4 年次：「シーズンスポーツ」
- 2～4 年次：「スポーツ」

2) 専門教育科目

専門教育科目は、以下の要件を満たし、合計 70 単位以上履修すること。

- ①演習Ⅰ・Ⅱ（16 科目）の中、同系の演習科目 2 科目 4 単位履修すること。
- ②発展演習Ⅰ・Ⅱ（16 科目）の中、同系の演習科目 2 科目 4 単位履修すること。
- ③基礎講読 A から J（計 10 科目）の中、2 科目 4 単位履修すること。
- ④講義および演習科目の選択については、課題研究で専攻しようとする分野を念頭に、主としてそれと同系の講義および「演習Ⅰ・Ⅱ」、「発展演習Ⅰ・Ⅱ」を 2、3 年次で履修しておくこと。

その他に、一般教育科目の選択科目、専門教育科目の選択科目および他学科の開放科目、司書に関する科目の中の◎印の科目、学芸員に関する科目の中の◎印の科目から、12 単位以上履修すること。（なお、12 単位のなかに、本学と協定を締結している他大学の単位互換科目を含めることができる。）

『図書館学に関する科目』の中※印の科目については、学生便覧の「司書」（P131）をよく読むこと。

●キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防

ぐため、学期間・年間に科目登録できる単位の上限を設ける制度である。

1年度あたり修得できる単位数は、前期、後期それぞれ28単位、通年で48単位を超えてはならない。

学科独自の科目登録の上限に含めない科目は「資格個別研修Ⅰ」「資格個別研修Ⅱ」である。

なお、全学科において科目登録の上限に含めない科目があるので、詳しくは、「**5** キャップ制」(P18)を参照すること。

● 1・2・3・4 年次開講科目「資格個別研修」

(1) 各種検定試験

国内外で実施されている各種検定試験において認定された資格を、「資格個別研修Ⅰ」(2単位)、「資格個別研修Ⅱ」(4単位)に振り替えることができる。「資格個別研修」に認定する検定試験は以下の表の通りである。試験結果の有効期間は2年間とし、本学入学以前に取得したものについても単位認定する。

(2) リーディングマラソン

日本文学科が定める推薦図書100冊(別紙参照)のいずれかの本を読み、その感想文を一定字数(400字以上)でまとめ、所定のメールアドレスに添付ファイルで送信し、提出する。20冊認定されると「資格個別研修Ⅰ」(2単位)、40冊認定されると「資格個別研修Ⅱ」(4単位)が認定される。

*上記(1)及び(2)の方法で「資格個別研修」の単位の認定を受けようとする者は、認定基準を満たした場合、すみやかに検定試験の「合格証明書(級数またはスコアを含む)」またはリーディングマラソンの

達成数を教務部委員に報告し、認定を受けなければならない。なお、「資格個別研修」の単位については、Ⅰ・Ⅱともに1回のみ認定する。

● 1 年次開講科目

- (1)「書道Ⅰ・Ⅱ」はクラス別開講となる。希望者は自分の所属するクラス向けに開講された授業を履修すること。
- (2)「身体表現研究Ⅰ」は夏休み中の連講となる。日程を確認して履修すること。
- (3)「日本語教員養成課程」において、日本語教員の資格を取得しようとする者は、一般教育科目の「情報処理」を必ず履修すること。

● 2 年生開講科目

- (1)「創作表現研究Ⅰ」(前期)と「創作表現研究Ⅱ」(後期)については、片方だけの履修は認められない。なお、受講希望者多数の場合には第1回の授業時に抽選を行うので必ず出席すること。
- (2)「書道Ⅲ・Ⅳ」はクラス別開講となる。自分の所属するクラス向けに開講された授業を履修すること。
- (3)「日本語教員養成課程」において日本語教員の資格を取得しようとする者は、必ず「日本語教育概説A・B」と「日本語教育演習Ⅰ・Ⅱ」、「対照言語学」を履修すること。

● 3・4 年次開講科目

- (1)「創作表現研究Ⅲ」「創作表現研究Ⅳ」については、

● 資格個別研修に関する認定基準

検定試験	認定団体	認定基準	認定科目の名称	単位
TOEIC TOEFL iBT 実用英語技能検定	国際ビジネスコミュニケーション協会 国際教育交換協議会 日本英語検定協会	450点以上(450～549) 45点以上(45～78) 2級	「資格個別研修Ⅰ」	2
TOEIC TOEFL iBT 実用英語技能検定	国際ビジネスコミュニケーション協会 国際教育交換協議会 日本英語検定協会	550点以上 79点以上 準1級以上	「資格個別研修Ⅱ」	4
実用フランス語技能検定	フランス語教育振興協会	4級	「資格個別研修Ⅰ」	2
実用フランス語技能検定	フランス語教育振興協会	3級以上	「資格個別研修Ⅱ」	4
ドイツ語技能検定	ドイツ語学文学振興会	4級	「資格個別研修Ⅰ」	2
ドイツ語技能検定	ドイツ語学文学振興会	3級以上	「資格個別研修Ⅱ」	4
中国語検定	日本中国語検定協会	2級	「資格個別研修Ⅰ」	2
中国語検定	日本中国語検定協会	準1級以上	「資格個別研修Ⅱ」	4
ハングル能力検定試験 韓国語能力試験	ハングル能力検定協会 韓国教育財団	準2級 中級(3～4級)	「資格個別研修Ⅰ」	2
ハングル能力検定試験 韓国語能力試験	ハングル能力検定協会 韓国教育財団	2級以上 高級(5～6級)	「資格個別研修Ⅱ」	4
日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	準1級	「資格個別研修Ⅰ」	2
日本漢字能力検定 日本語教育能力検定試験	日本漢字能力検定協会 日本国際教育支援協会	1級 合格	「資格個別研修Ⅱ」	4

● 検定試験以外

リーディングマラソン (日本文学科教員推薦図書を読み、感想文を提出する)	20冊	「資格個別研修Ⅰ」	2
	40冊	「資格個別研修Ⅱ」	4

片方だけの履修は認められない。なお、受講希望者多数の場合は第 1 回の授業時に抽選を行うので必ず出席すること。

- (2) 「日本語教育発展演習Ⅰ・Ⅱ」の履修は「日本語教育概説 A・B」と「日本語教育演習Ⅰ・Ⅱ」を修得している者に限る。「日本語教員養成課程」において日本語教員の資格を取得しようとする者は必ず 4 年次の「卒業論文・制作」で日本語教育を専攻し、「日本語教育実習Ⅰ・Ⅱ」を履修すること。
- (3) 4 年次開講科目「卒業論文・制作」で各自が取り組む分野は、3 年次の題目提出時(12 月)に決めることになる。それまでにどの分野で取り組むのか、意思を決定しておくこと。特に、創作を選択希望する場合には 10 月に作品の審査を行うので、それまでにある程度の作品を完成させておくこと(指導上、定員を 20 名程度とする)。
- (4) 「発展演習Ⅰ・Ⅱ」については再度履修を可とする。ただし、二回目の履修については自由科目扱い(卒業要件として認められない)となる。
- (5) 国語教諭の免許と日本語教員の資格の両方を取得しようとする者は、教育実習を履修する前に必ず修得が必要な科目があるので十分に注意すること。

3 取得できる免許と資格

日本文学科の学生は、次の教育職員免許状と資格を取得することができる。取得方法については「資格・免許」(P116～)を参照すること。

教育職員免許状：中学校教諭一種免許状（国語）	
高等学校教諭一種免許状（国語）	
資	格：司書教諭、司書、学芸員
そ	の 他：日本語教員

4 教育課程表の記号について

・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目	
必修	◎
選択（卒業要件単位）	△
自由（卒業要件単位には含まれない）	△
・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目	
教職(中一種免・高一種免を両方取得希望者) 必修	⊗
教職(中一種免) 必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免) 必修(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職(中一種免) 選択(専門教育科目・教職に関する科目)	⊕
教職(高一種免) 選択(専門教育科目・教職に関する科目)	⊖
教職（共通）必修（一般教育科目）	⊗
教職（共通）選択（一般教育科目）	⊗
司書必修	司
司書選択	司
司書教諭必修	教
学芸員必修	学
学芸員選択	学
日本語教員必修	日
日本語教員選択	日

日本文学科教育課程表

部門	必修・選択・自由		授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
一般科目	◎		キリス ト 教 学 I	2	2					
	◎		キリス ト 教 学 II	2				2		
	◎		基 礎 演 習	2	2					
	◎	日	日 本 語 演 習	2	2					
	△		教 養 講 義 A	2	2				可	2科目4単位以上選択
	△		教 養 講 義 B	2	2				可	
	△		教 養 講 義 C	2	2				可	
	△		教 養 講 義 D	2	2				可	
	△		教 養 講 義 E	2	2				可	
	△		教 養 講 義 F	2	2				可	
	△		教 養 講 義 G	2	2				可	
	△		教 養 講 義 H	2	2				可	
	△		教 養 講 義 I	2	2				可	
	△		教 養 講 義 J	2	2				可	
	△		教 養 講 義 K	2	2				可	
	△		教 養 講 義 L	2	2				可	
	△		教 養 講 義 M	2	2				可	
	△		教 養 講 義 N	2	2				可	
	△		教 養 講 義 O	2	2				可	
	◎		人 文 社 会 科 学 入 門	2	2					
	◎		特 殊 研 究 A	2				2	可	
	◎		特 殊 研 究 B	2				2	可	
自然系科目	△	教	日 本 国 憲 法	2			2			
	◎		自 然 科 学 入 門	2	2					
	△		自 然 科 学 特 論 A	2		2			可	1科目2単位以上選択
	△		自 然 科 学 特 論 B	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 C	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 D	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 E	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 F	2		2			可	
育 科	◎		科 学 技 術 論	2			2			
	△	教	情 報 処 理	2	2					
	△		総 合 コ ー ス A	4		4			可	2科目8単位以上選択
	△		総 合 コ ー ス B	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス C	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス D	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス E	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス F	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス G	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス H	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス I	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス J	4		4			可	
	◎	教	英 語 I	A 1	1					各2科目計4単位必修
	◎		英 語 I	B 1	1					
	△		英 語 II	A 1		1			可	同一外国語を 4科目4単位以上選択
	△		ド イ ツ 語 I	A 1	1					
	△		ド イ ツ 語 II	A 1	1					
	△		ド イ ツ 語 II	B 1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 I	A 1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 I	B 1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 II	A 1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 II	B 1	1					
	△		中 国 語 I	A 1	1					
	△		中 国 語 I	B 1	1					
	△		中 国 語 II	A 1	1					
	△		中 国 語 II	B 1	1					
体育科目	△		ド イ ツ 語 III			1			可	
	△		フ ラ ン ス 語 III			1			可	
	△	教	中 国 語 III	1		1			可	
	◎	教	運 動 ス ポ ー ツ 論	2	2					
	△		シ ー ズ ン ス ポ ー ツ	1		1			可	
	△	教	ス ポ ー ツ	1		1			可	

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 目	◎	中高日	日 本 文 学 史 A	2	2					
	◎	中高日	日 本 文 学 史 B	2	2					
	◎	中高日	日 本 語 概 説 A	2	2					
	◎	中高日	日 本 語 概 説 B	2	2					
	△	中高学	日 本 文 化 史 A	2		2				
	△	中高学	日 本 文 化 史 B	2		2				
	△	中高日	日 本 語 教 育 概 説 A	2		2				
	△	中高日	日 本 語 教 育 概 説 B	2		2				
	◎	中高	日 本 文 学 基 礎 演 習 A	2	2					
	◎	中高	日 本 文 学 基 礎 演 習 B	2	2					
	△	中高	基 礎 講 読 A	2	2					2科目4単位以上選択
	△	中高	基 礎 講 読 B	2	2					
	△	中高	基 礎 講 読 C	2	2					
	△	中高	基 礎 講 読 D	2	2					
	△	中高	基 礎 講 読 E	2	2					
	△	中高	基 礎 講 読 F	2	2					
	△	中高	基 礎 講 読 G	2	2					
	△	中高	基 礎 講 読 H	2	2					
	△	中高	基 礎 講 読 I	2	2					
	△	中高	基 礎 講 読 J	2	2					
教 育 系 科 目	△	中高	古 典 文 学 演 習 I A	2		2				
	△	中高	古 典 文 学 演 習 II A	2		2				
	△	中高	古 典 文 学 演 習 I B	2		2				
	△	中高	古 典 文 学 演 習 II B	2		2				
	△	中高	近 代 文 学 演 習 I A	2		2				
	△	中高	近 代 文 学 演 習 II A	2		2				
	△	中高	近 代 文 学 演 習 I B	2		2				
	△	中高	近 代 文 学 演 習 II B	2		2				
	△	中高	中 国 文 学 演 習 I	2		2				
	△	中高	中 国 文 学 演 習 II	2		2				
	△	中高	古 典 文 学 発 展 演 習 I A	2			2		可	
	△	中高	古 典 文 学 発 展 演 習 II A	2			2		可	
	△	中高	古 典 文 学 発 展 演 習 I B	2			2		可	
	△	中高	古 典 文 学 発 展 演 習 II B	2			2		可	
	△	中高	近 代 文 学 発 展 演 習 I A	2			2		可	
	△	中高	近 代 文 学 発 展 演 習 II A	2			2		可	
	△	中高	近 代 文 学 発 展 演 習 I B	2			2		可	
	△	中高	近 代 文 学 発 展 演 習 II B	2			2		可	
	△	中高	中 国 文 学 発 展 演 習 I	2			2		可	
	△	中高	中 国 文 学 発 展 演 習 II	2			2		可	
語 学 系 科 目	△	中高	比 較 文 学	2		2				
	△	中高	古 典 文 学 I A	2			2			
	△	中高	古 典 文 学 II A	2			2			
	△	中高	古 典 文 学 I B	2			2			
	△	中高	古 典 文 学 II B	2			2			
	△	中高	近 代 文 学 I A	2			2			
	△	中高	近 代 文 学 II A	2			2			
	△	中高	近 代 文 学 I B	2			2			
	△	中高	近 代 文 学 II B	2			2			
	△	中高	中 国 文 学 I	2			2			
	△	中高	中 国 文 学 II	2			2			
	△	中高日	日 本 語 学 演 習 I	2		2				
	△	中高日	日 本 語 学 演 習 II	2		2				
	△	中高日	日 本 語 学 発 展 演 習 I	2			2		可	
	△	中高日	日 本 語 学 発 展 演 習 II	2			2		可	
	△	中高日	日 本 語 史 I	2			2			
	△	中高日	日 本 語 史 II	2			2			
	△	中高日	現 代 語 I	2			2			
	△	中高日	現 代 語 II	2			2			

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 教 育 科 目	△	中高	日 本 文 化 演 習 I	2		2				
	△	中高	日 本 文 化 演 習 II	2		2				
	△	中高	日 本 文 化 発 展 演 習 I	2			2		可	
	△	中高	日 本 文 化 発 展 演 習 II	2			2		可	
	△	中高	芸 能 文 化 論 I	2			2			
	△	中高	芸 能 文 化 論 II	2			2			
	△	中高	表 象 文 化 論 I	2			2			
	△	中高	表 象 文 化 論 II	2			2			
	△	中高	日 本 語 教 育 演 習 I	2		2				
	△	中高	日 本 語 教 育 演 習 II	2		2				
	△	中高	日 本 語 教 育 発 展 演 習 I	2			2		可	
	△	中高	日 本 語 教 育 発 展 演 習 II	2			2		可	
	△	中高	日 本 語 教 育 実 習 I	2				2		
	△	中高	日 本 語 教 育 実 習 II	2				2		
	△	中高	対 照 言 語 学	2		2				
	△	中高	異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2			2			
	△	中高	日 本 語 音 声 学	2			2			
	△	中高	第 二 言 語 習 得 論 I	2			2			
	△	中高	第 二 言 語 習 得 論 II	2			2			
	△	中高	創 作 表 現 研 究 I	2		2				
	△	中高	創 作 表 現 研 究 II	2		2				
	△	中高	創 作 表 現 研 究 III	2			2			
	△	中高	創 作 表 現 研 究 IV	2			2			
	△	中高	身 体 表 現 研 究 I	2	2					
	△	中高	身 体 表 現 研 究 II	2		2				
	△	中高	メ デ ィ ア ・ 編 集 研 究 I	2		2				
	△	中高	メ デ ィ ア ・ 編 集 研 究 II	2		2				
	△	中高	日 本 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ス キ ル	2			2			
	△	中高	書 道 I	1	1					
	△	中高	書 道 II	1	1					
	△	中高	書 道 III	1		1				
	△	中高	書 道 IV	1		1				
目	△	中高	国 語 科 教 材 研 究	2			2			
	△	中高	国 語 科 実 践 研 究 A	2			2			
	△	中高	国 語 科 実 践 研 究 B	2			2			
	△	学	民 俗 学 I	2		2				学芸員共通
	△	学	民 俗 学 II	2		2				学芸員共通
	△		資 格 個 別 研 修 I	2	2					
	△		資 格 個 別 研 修 II	4	4					
	◎		卒 業 研 究 演 習 I	2				2		
	◎		卒 業 研 究 演 習 II	2				2		
	◎		卒 業 論 文 ・ 制 作	4				4		
教 職 に 関 する 科 目	△	中高	教 育 理 原	2	2					
	△	中高	教 育 制 度 論	2	2					
	△	中高	教 職 概 論	2	2					
	△	中高	教 育 心 理 学	2		2				
	△	中高	教 育 方 法 論	2		2				
	△	中高	道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	2		2				
	△	中高	特 別 活 動 の 理 論 と 方 法	2		2				
	△	中高	生 徒 指 導 A (進路指導を含む)	2		2				
	△	中高	教 育 相 談	2			2			
	△	中高	国 語 科 教 育 法 I	2		2				
	△	中高	国 語 科 教 育 法 II	2		2				
	△	中高	国 語 科 教 育 法 III	2			2			
	△	中高	国 語 科 教 育 法 IV	2			2			
	△	中高	教 職 実 践 演 習 (中・高)	2				2		
	△	中高	教 育 実 習 A (事前事後指導を含む)	5				5		
	△	高	教 育 実 習 B (事前事後指導を含む)	3				3		

部門		必修・選択・自由		授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考
		卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
図書館学に関する科目	甲群	△	司	生涯学習概論	2			2			学芸員共通
		△	司	図書館情報学概論	2		2				※
		△	司	図書館情報技術論	2		2				
		△	司	図書館制度・経営論	2			2			
		△	司	図書館サービス概論	2		2				※
		△	司	情報サービス論	2			2			※
		△	司	児童サービス論	2		2				※
		△	司	情報サービス演習Ⅰ	1				1		※
		△	司	情報サービス演習Ⅱ	1				1		※
		△	司	図書館資料論	2				2		
		△	司	資料組織法概説	2			2			
		△	司	資料組織法演習A	1			1			
	△	司	資料組織法演習B	1			1				
	乙群	△	司	データベース特論	1			1			
		△	司	専門資料論	2			2			
△		司	図書・図書館史	2			2				
司書教諭に関する科目	△	教	学校経営と学校図書館	2			2				
	△	教	学校図書館メディアの構成	2			2				
	△	教	学習指導と学校図書館	2			2				
	△	教	読書と豊かな人間性	2			2				
	△	教	情報メディアの活用	2			2				
学芸員に関する科目	△	学	生涯学習概論	2			2			図書館学共通	
	△	学	博物館概論	2	2						
	△	学	博物館資料論	2		2					
	△	学	博物館経営論	2		2					
	△	学	博物館情報・メディア論	2	2						
	△	学	博物館実習Ⅰ	1			1				
	△	学	博物館実習Ⅱ	2			2				
	△	学	博物館教育論	2	2						
	△	学	博物館資料保存論	2			2				
	△	学	博物館展示論	2		2					
	△	学	文化史	4		4				2科目8単位以上選択	
	△	学	民俗学	4		4					
	△	学	美術史	4		4					
△	学	考古学	4		4						
計	一般教育科目			124							
	専門教育科目			202							
	教職に関する科目			36							
	図書館学に関する科目			27							
	司書教諭に関する科目			10							
	学芸員に関する科目			35							
合 計				434							